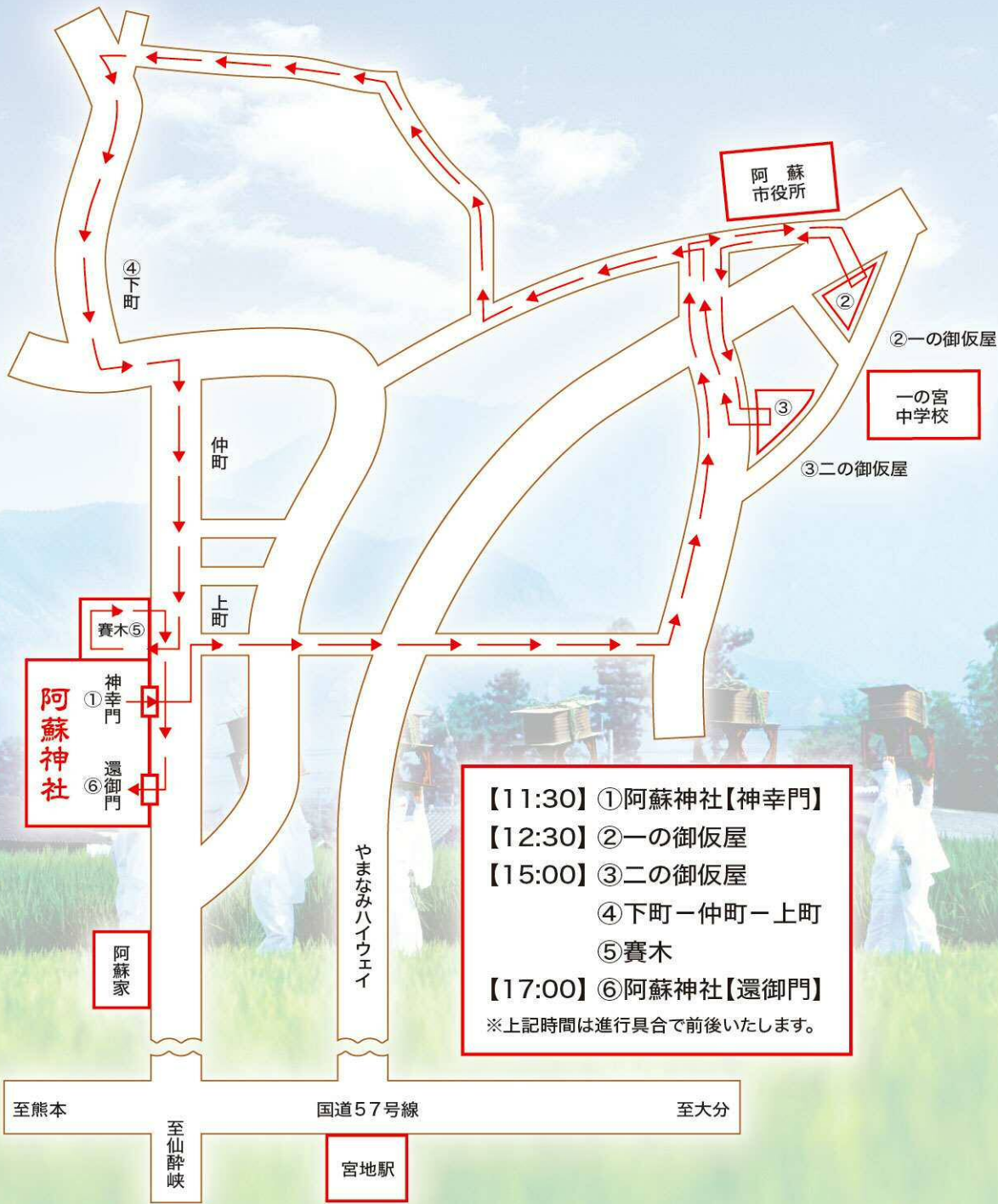




肥後一の宮
阿蘇神社

御田植神幸式順路図



【11:30】①阿蘇神社【神幸門】
 【12:30】②一の御仮屋
 【15:00】③二の御仮屋
 ④下町ー仲町ー上町
 ⑤賽木
 【17:00】⑥阿蘇神社【還御門】
 ※上記時間は進行具合で前後いたします。



御田植神幸式

通称：おんだまつり

国指定重要無形民俗文化財「阿蘇の農耕祭事」

期日 **7月28日** 27日 前夜遷座祭 28日 献幣式 御田植神幸式 29日 翌日祭 後夜遷座祭

御田植神幸式

阿蘇神社では年間を通じて稲作に関する祭礼が行われます。

これらは昭和五十七年に国重要無形民俗文化財に指定されました。個々の祭礼は、稲の生育過程に合わせた祭日が設定されています。また、古来より変わらないその姿は、大自然の恵に感謝する古の人々の祈りが“かたち”としてよく現れています。



宇奈利

七月二十八日に行われる御田植神幸式は通称“おんだ祭”とも呼ばれ、阿蘇神社年中行事の中で最大規模のもので、神様がお乗りになられた四基の神輿を中心に、田男・田女・牛頭などの農耕に関する人形等、神様のお食事を運ぶ役を担った全身白装束の宇奈利と呼ばれる女性たち、約二百人の行列が青田の中を練り歩きます。この時期の稲の育ち具合を神様にご覧いただ

くことよって秋の豊作を祈願するものです。

お祭りの名称は御田植神幸式というものの、実際に田植えを行うものではありません。すでにこの時期の稲はかなりの背丈まで成長しています。

では何をもつて田植えとするのでしょうか。行列には定められた道順があります。神社を出発して途中二カ所の御仮屋(休憩所)を経て、再び神社に戻ってきます。行程において神輿に向かつて稲が投げかけられます。この行為を“田植え”と称するので、使用される稲は、おんだ祭用に特別に育てられた神食用のもので、そして、たくさん稲が神輿にのれば豊作になるとされています。

行列は、半日をかけて駕輿丁(かよちょう)・神輿を担ぐ人たちが御田歌を謡ながら遅々と進んでいきます。古式ゆかしい、のどかな時代絵巻が展開されます。



日程

7月28日

- 10:00 例祭献幣式
- 11:30 神幸式御癸輿(出癸)
- 12:30 一の御仮屋御田植式
- 15:00 二の御仮屋御田植式
- 17:00 還御(帰着)宮めぐり
御田植式
- 18:00 成就祭



駕輿丁